



SNSを使った広報活動

松谷 朝美

やまもものホームページはNP0法人化のころに開設され、その後2012年に現在の形となりました。ホームページは、日々の細かな更新に向かないため、2014年からは助成金を活用した活動のPRブログを開設していました。そして、2017年の創立30周年の節目の年にFacebookを開設し、翌年にはX（旧Twitter）とInstagramも開設。ホームページにはInstagramをリンクしており、アカウントを持っていない方でも投稿を見ることができます。SNSには、養成講座、要約筆記者派遣現場、勉強会の様子、イベント告知などの活動を随時アップしています。

投稿を続けることでフォロワーが少しずつ増え、Instagramの閲覧数は1投稿当たり200を超えることもあります。見てくれた県内外の団体・個人や県外へ転出した元会員の方が「いいね！」をしてくれたりSNSのメッセージでコミュニケーションもします。

SNSを日々更新することで、活発に活動をしている団体だということをアピールでき、投稿回数が多いことで、見かけた人が活動に関心を持ってくれることもあります。

また、養成講座の様子は、受講を検討している方にとっては講座の雰囲気伝わり、派遣現場は実際にどのような場所で活動を行っているのかを、知ってもらうことができます。今回、記事を書くにあたって開設当初の投稿まで振り返ってみました。さまざまな活動の写真をしているうちに、多くの方々の支えがあって、これまで続けてこられたことを改めて感じました。積み重ねてきた投稿のひとつひとつが、やまももの大切な記録になっていると実感しています。

今後も、「要約筆記」、「要約筆記高知・やまもも」の活動を多くの方に知ってもらえるよう、情報発信に力を入れ、私たちの取り組みや思いを届けたいと思います。

やまもも会員

8月現在 53名

(内 賛助会員 8名)

〈目 次〉

1面 SNSを使った広報活動（松谷朝美）

2面 「やまちゃん・ももちゃん」が意味するもの（松村滋子）

3面 読書（岡部万希子） 近況（矢田春奈）

4面 活動報告予定



<https://yamamomo-kochi.sakura.ne.jp>



088 - 879 - 5534



088 - 863 - 7675



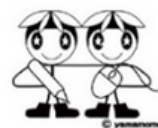
youyaku.y



youyaku.y



@youyaku_y



「やまちゃん・ももちゃん」が意味するもの

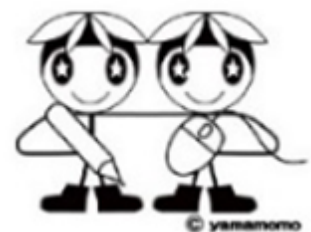
松村 滋子

本会のNPO法人化は、平成17年（2005）山崎千加会長時代。平成19年、次の会長に就任した武市親典会長時代に、理事会でPRを目的にしたマスコットキャラクターの作製が決まった。溝渕三枝子さんの原画を、当時PCチームで活躍しフリーランサーでもあった水木和香さんが、デジタル化してできたのが、現在やまももの封筒に使用されているマスコットキャラクターである。

さらに「やまちゃん・ももちゃん」というネーミングの由来も御存知ない方が多いのでは、と思われるので少し紹介したい。命名者は廣田美子さん。やまもも内の懸賞金付き公募で「やまもも」の「やまちゃん・ももちゃん」という案が、賛成多数で決定された。居室が旧塩見文庫の1階にあった懐かしい小津時代の話で、彼女はその懸賞金で、皆にお菓子を買ってくれたことだった。さらに、このキャラクターを依頼主の承諾を得て、OHCで派遣のたびに流し、要約筆記のPRに努めたものだ。

考えてみると、全てがまだ穏やかな時代であったが、要約筆記をPRしなければならぬ時代でもあった。当事者の、手話ではなく筆記通訳が欲しいとの思いを受け、先輩方が書いて伝えることに懸命だった時代。「難聴者と要約筆記者は車の車輪、共に歩む」といつも口にした先輩方と難聴の方。料理教室・忘年会・講座の打ち合せ、その他 共に歩んでいた時代である。

現代社会は随分変化をし、障害のある方の権利は守られるのが当然であるし、差別は解消されて当たり前と言われる時代となった。だからこそと言おうか、だけれどもと言おうか、私は話を文字にして伝える要約筆記者は『それを必要とする方の傍（かたわ）らに』の志を持って欲しいと願う。「やまちゃん・ももちゃん」が手にするペンとマウスが象徴する支援者としての在り方を、これからも皆さんと一緒に考えていきたい。



『あなた次第で

この世は素晴らしい場所になる』



岡部 万希子



今回紹介させていただくのは、ひすいこたろうさん著書の「あなた次第でこの世界は素晴らしい場所になる」です。

「あなたの人生がつまらないと思うなら、それはあなた自身がつまらなくしているのかもしれない。」なぜなら…、

『事実というものは存在しない。存在するのは解釈だけである。』

(フリードリヒ・ニーチェ)

本の冒頭に書かれているこの言葉が印象的で、どんな内容かわくわくしながら読み進めていきました。面白くもなんともない現実を、どう面白おかしく捉え結んでいくかは、自身の視点にかかっている。

問題が問題なのではなく、それをどう捉えるかが本当の問題である。

ものの見方ひとつで人生は瞬時に変わる、そんなエピソードが70話も掲載されています。どのエピソードも「なるほど!」と納得、そしてポジティブ思考になれるものばかりです。ぜひ皆さんにもお薦めしたい一冊です。



『技術の使い方について』

矢田 春奈



昨年、養成講座を修了し、今年よりお世話になっております。

まだまだ未熟でご迷惑をおかけしますが、今後とも長い目でご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、少し前にクラウドファンディングで『家庭用真空パック機』を購入しました。きっかけは、娘が東北で大学生生活を始め、「たまに家庭の味が恋しくなる」とこぼしていたからです。多めに作った夕食のおかずを真空パックして冷凍保存、ある程度たまったらクール便で送るということを続けています。普通に冷凍した場合と比較して3倍くらい鮮度を保てるそうです。

近年は新しい技術がすごいスピードで出現して驚いてばかりです。軍用新兵器とかではなく、ハンディを持つ方の困難が少しでも解消されるような技術の使い方が驚くほど出てくると良いなと、便利な機械を使いつつ、ニュースを見ながら願っている日々です。



8月活動予定



よつちよれよ



日・曜	会 合 名	時 間	場 所
2(土)	要約筆記者養成講座 13回 理事例会	9:30~12:30 13:30~15:30	高知市障害者福祉センター 高知市障害者福祉センター
9(土)	要約筆記者養成講座 14回	9:30~12:30	高知市障害者福祉センター
17(日)	高知県要約筆記者現任研修 ①	9:30~12:30	四万十町 地域交流センター
20(水)	2025年度 香南市人権教育研究大会	9:30~11:40	のいちふれあいセンター
21(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
23(土)	手話教室 ①	10:00~11:30	小高坂更生センター
24(日)	要約筆記者養成講座 15回 合同勉強会	9:30~12:30 13:30~15:30	高知市障害者福祉センター 高知市障害者福祉センター
28(木)	木曜会	10:00~12:00	高知市障害者福祉センター
30(土)	要約筆記者養成講座 16回 パソコン勉強会	9:30~12:30 20:00~21:30	高知市障害者福祉センター 高知市障害者福祉センター

7月活動追加

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
	なし		

理事例会等開催予定

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
9月6日(土)	理事例会	13:30~15:30	高知市障害者福祉センター

一企画よりー

いつも寄付切手&寄付ハガキ回収への
御協力を ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。

(敬称略) 包国扶美 松岡千草
小笠原文香 山本善子



編集後記



この夏、防災の研修を受けています。
知らなかったことや勘違いしていたこと
など勉強になることがいっぱい。
思い切って受講してよかったです。
もっと知識を増やして、いつ地震がきても
大丈夫なように備えたいと思います。

